



さかそう通信

執筆・印刷
上甲 誠 (じょうこうまこと)
無所属 (1973年阪南市生まれ)
市政相談所：〒599-0224 阪南市舞 4-30-2
電話 072-474-9211 メール mj@mac-joe.net
ブログ http://mac-joe.net/

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南 (2012~2021)」～「ONE ACTION ～時代の1歩先をゆくまち～ (2022~2033)」
市民一人ひとりが1歩踏み出すことで、未来が形づくられ、やがて太い幹となるまち。地域経営の主体は地域に住む市民であり、その地域の市民、企業・団体、行政それぞれが、「わがごと」として、「オープン」に「双方向」で課題に取り組むことが重要です。
『共創による新しい地域価値が創造され、誰もが輝ける舞台都市・阪南』 ～「さかそう通信」お届けします。

残念ながら、現在、阪南市はすこく元気がなくなっています。近隣の泉佐野市や泉南市と比べても明らかです。
こんなに魅力あふれ、住みやすいはずの阪南市なのになぜでしょうか。それは、地域経済が循環していないからです。



阪南市 地域経済が回るまちめざして

こんにちは。市議会議員の上甲です。市政報告書「さかそう通信」第54号をお届けいたします。今回は「人口を増やす」とともに、私が最重要課題と考えます「地域経済が回るまち」をテーマにお伝えいたします。

住みよさランキング (全国 812 市区中)

807 位

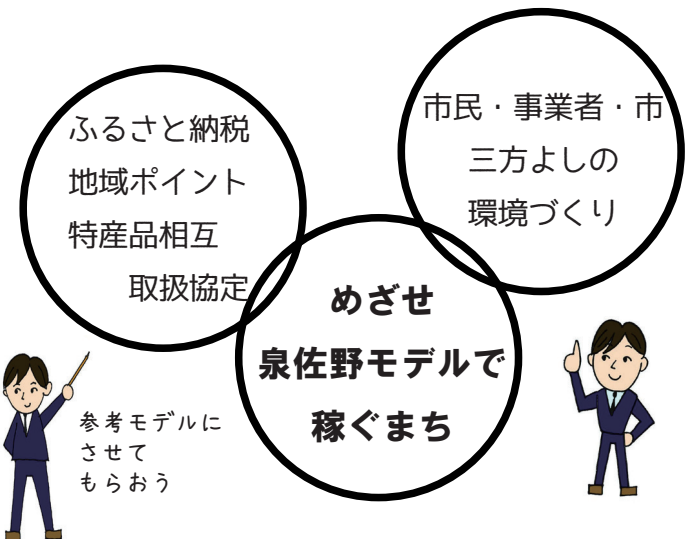
卸売業年間販売額 **812 位** 最下位!
小売業：一人当たり販売額 **794 位**

都市データパック 2023

これは昨年発表されました全国住みよさランキング。なかでも地域経済にかかわる数字が極端に低く、総合順位にも大きな影響を及ぼしています。

地域経済を回すには？

まずは、ビジョン・方向性を示し、その方法を明らかにすることが大切です。



ここで提案する泉佐野モデルとは、ざっくりこんな内容です。

【ふるさと納税】
令和5年度の阪南市のふるさと納税は2.5億円。泉佐野市は175億円で全国第5位。阪南の70倍の実力は様々な工夫によるもので、ふるさと納税3.0が有名。

【地域ポイント】
泉佐野の地域ポイント「さのぽ」泉佐野で買い物をする時に「さのぽカード」利用で約1%のポイントが付く。現在会員10万人。昨年の経済効果は28億円。泉佐野市外の人もカードを持っています。

【特産品相互取扱協定】
全国各地の素晴らしい地場特産品にブランド力を持たせるために各自治体と協定を締結し、相互に特産品を取り扱う仕組み。泉佐野は現在、全国48自治体と協定を結びお互いに地域経済発展に取り組んでいます。

上甲誠ブログ 人こそ街ない



ほぼ毎日更新中！

<http://mac-joe.net/>



阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載！！

上甲誠市政報告座談会 さかそう会

【毎月】3回開催しています。

7月6日(土) 10時
箱作西住民センター

7月20日(土) 10時
あたごプラザ「ホール」

7月27日(土) 10時
椎の木台西住民センター

市政相談・お問い合わせ

お気軽に

上甲誠市政相談所



お待ちしております！

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mj@mac-joe.net

まずは

ビジョンを明確に示す

今回は「地域経済が回るまち」というテーマですが、まずは第一に大切なことは「ビジョンを示す」という事です。

現在、阪南市の地域経済を活性化する事業についてはビジョンがはっきりしないことが原因で進んでいないものがいくつもあります。



- ・ 経済循環の仕掛けづくり
- ・ 市の魅力づくり、ブランド化
- ・ 地元企業の活性化支援

- ・ 公共施設管理計画
- ・ 市役所前の駐輪場跡地の活用方法
- ・ 旧東鳥取小学校を始めとした東鳥取地区未利用公共施設の再整備計画
- ・ せんなん里海公園の活性化方針
- ・ 山中溪地区の活性化方針
- ・ 企業誘致の具体的方針

これ以外にもありますが、代表的なものを挙げました。まずは明確なビジョンを示し、それらを現実のものとするため具体性を持つて前進することが大切です。

近隣市にはお手本事例が

たくさん転がっている

オモテ面にも記しましたが、泉佐野市を始め、近隣の市町にはお手本となる事例がたくさんあります。

まずはそれらを参考にしながら、例えば泉佐野モデルを積極的に取り入れながら、

ステキな「阪南モデル」

を作り上げていきましょう！

トップセールスで

あらゆる連携を

ただ一方で現時点での阪南市は税収が低く、財政力に乏しいのも現実です。そのためには市長を中心とし積極的に国や大阪府との連携を強め、補助金の活用や人材協力、情報共有を強力に押し進めることが必要です。

また、同様にトップセールスで近隣のみならず全国の市町村との連携も必要であり、



そして民間事業者やあらゆる法人、市民団体など、考えられるすべての連携を強化して、関わる皆が発展できる関係作りが必要です。

未利用公有地も

ビジョンと実行力を

最後に地域経済を回すための起爆剤、それは未利用公有地です。

皆様ご存じの通り阪南市には小学校跡地や幼稚園用地・跡地、道の駅事業用跡地、市役所前の自転車置き場が閉鎖になった空き地もあります。

それらの未利用公有地、今後の方向性が決まっておらず、いわゆる「塩漬け」になってしまっているものも多い。これらの未利用公有地を有効な財産として認識し、一つ一つビジョンを持って計画し、地域に寄り添い丁寧な説明、そして実施できる方向性が定まったら、一つ一つ実行していく。

多くのビジョンの実現には強いリーダーシップが必要であり、今秋に控える阪南市長選挙は本場に重要な役割を担います。お一人お一人が阪南市を作るという意識を持って、選挙に臨んでいただくようお願いいたします。

最後までお付き合いいただきましてありがとうございます。

これからも一生懸命頑張ります。ブログ・後援会も含めて、今後ともよろしく願います。

阪南市議会議員 上甲 誠